学校番号	３１２

令和２年度　地歴科

教科	地歴科	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	世界史Ｂ　（東京書籍）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表　新版三訂（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

第２学年で重点的に学んだ世界史Ａの内容を受けて、原始・古代・中世における世界の各地域の民族や社会・文化の特色を深く学び、それらの形成過程や、相互の影響・関係性を学習します。また、近現代史についても、演習問題等を通じて、深い学びに挑戦します。
・授業を大切にしましょう。
・重要事項は知識として定着させましょう。そのためにも演習問題を活用しましょう。
・単純な暗記ではなく、意味ある「つながり」として事象をとらえられるよう、地図・図表・年表などを活用しながら学習を進めることが重要です。
・また、世界史関連のテレビ番組の視聴、映画、博物館・美術館の見学なども理解を深めるのに役立ちます。

2　学習の到達目標

・前近代の世界に関する基礎的事項を定着させる。
・資料や地図から相互の事項の関係を読み取る力をつける問題演習を通じて、近現代の事項を含む幅広い知識を身につける。
・それらを通じて「現在」を読み解く力をつける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○世界の歴史に対する関心を高め、文化の多様性と現代世界の特質、世界が抱える諸課題について主体的に追究している。	○世界各地の諸事象について，地理的条件や日本史とも関連付けながら考察している。 ○世界史を，時間的なつながりや空間的なつながりに着目して考察している。 ○世界各地，各時代の諸事象の特徴を，他の地域や時代の諸事象と比較して適切に考察している。 ○様々な観点から世界史の諸事象を捉え，広い視野からその歴史的意義を公正に判断している。 ○資料に基づいて追究し，考察の過程や結果を適切に表現する。	○収集した世界史についての諸資料を，客観性や公正さにも配慮した上で適切に取捨選択して活用する。	○世界史の大きな枠組みと流れを，地理的条件や日本史とも関連付けながら，理解している。 ○世界史的な知識を，時間的なつながりや空間的なつながりに着目して整理している。 ○政治，経済，社会，文化，生活など様々な観点から世界史の諸事象を理解し，その基本的知識を身に付けている。

評価方法	見学レポート課題 意見発表 学習の振り返り	定期テスト （論述問題など） レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	定期テスト (資料の読み取り) レポート課題 史資料の読み取り 学習の振り返り	定期テスト 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	D		
1学期前半	さまざまな地域世界 序章 ／ 地中海世界・西アジア・世界	１、文明以前の人類	○			○	a 人類の進化については理科との関連に留意します。 b 古代の各文明を比較し，各々の相違について考えます。 c 食糧生産の開始と階級の発生が古代文明の特徴であることを理解します。 d 文化については、作品に触れたり調べたりします。	定期考査 授業プリント 小テスト
		２．オリエント世界と東地中海世界 オリエント/ギリシア/ヘレニズム		○	○	○		
		３．地中海世界と隣接諸文明						
		①都市国家から世界帝国へ		○	○			
		②ローマ帝国とキリスト教		○		○		
		③古代末期社会・地中海文明の解体		○	○			
		④諸文明の交流		○				

1 学 期 後 半	南アジア世界東アジア世界の誕生と発展	4．南アジア世界の形成 ①北インド世界 ②ヒンドゥー世界の成立 5．東アジア世界の形成 ①アジアにめばえた文明 ②中華帝国の誕生 ③東方の世界帝国 6．東アジア世界の変容 ①唐帝国の崩壊と東アジア ②モンゴル帝国	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a 農耕文明が,遊牧国家と関係しつつ地域世界を形成したことに着目します。 b 古代日本の律令国家が東アジアの歴史の中でどのように位置づけられるのか、考えます。 c 中国歴代王朝の史書（抜粋）を読み解き、理解を深めます。 d「東(南)アジア世界」の、今日に続く文化的共通性を理解します。	定期考査 授業プリント 小テスト
2 学 期 前 半	イスラーム世界の形成とアジア諸地域

2学期後半	近世のヨーロッパ	10. 近世のヨーロッパ	○				a 世界史Aの内容を踏まえ、近現代を俯瞰します。 b ヨーロッパにおける国民国家の形成の道筋をたどります。 c 資本主義社会の成立と発展に関する諸資料を収集し, 適切に活用します。 d 18 世紀後半から 19 世紀までの欧米の政治･経済的変革と産業社会と国民国家の形成についての基本的な事柄を押さえます。	定期考査 授業プリント
		①オランダ、イギリスの繁栄		○	○			
		○重商主義時代の世界貿易の拡大とヨーロッパ諸国のアジア進出		○	○			
	近代のヨーロッパ	11. ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民国家の形成		○	○			
		① 市民革命の展開（イギリス革命、アメリカ独立革命、フランス革命とナポレオン）		○		○		
		② 19 世紀のヨーロッパナショナリズムの勃興と植民地化とアジア諸国民			○	○		
		③ 産業革命			○	○		
	近代から現代へ	12. 帝国主義の時代	○			○		
		①イギリスの覇権	○			○		
		②アメリカ合衆国の発展						

3 学 期		13. 世界大戦の時代 ①第１次世界大戦 ②第２次世界大戦 14. 戦後世界秩序の形成 ① 冷戦体制の形成 ② グローバル化する世界 <u>※現代史の補足</u> ２年次学習済の第２次大戦および「冷戦」期を含む戦後の世界について、深めます。（府教委作成の「慰安婦」資料を活用）	○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a 世界史Ａの内容を踏まえ、近現代を俯瞰します。 b 帝国主義的膨張が世界大戦を引き起こすまでになった過程をたどります。 c 第１次世界大戦、第２次世界大戦の映像資料などを活用します。 d 戦後世界の情勢から現代の世界情勢について理解を深めます。	定期考査 授業プリント

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

年度に５回の定期考査

それ以外に

① プリント提出

② 宿題（練習問題・見学レポート等）

③ 小テスト（授業中に適宜実施）

④ 出席状況，授業・課題に取り組む姿勢

・・・などをふくめて総合的に評価する